第39巻　第1号　2025年7月31日発行（通巻65号）　ISSN 1880-4837

大阪作業療法ジャーナル

Journal of the Osaka Occupational Therapy Association : JOOTA

特集　子どもから高齢者まで：大阪の地域包括ケアの現状とこれから

巻頭言　辻　薫　1

特集
大阪の地域包括ケア推進に向けた現状とこれから　藤原　太郎　2
地域包括ケアチーム：
大阪府下での地域包括ケアの実態と今後の展望について　浅田　健吾　7
こども発達サポートチーム：
地域子育て支援人材養成講座がつないだ地域包括ケアと発達支援のこれから　辻　薫　14
こども発達サポートチームの新たな挑戦　西口あずさ　21
認知症支援推進チーム：
大阪府下での認知症支援の実態とこれからの課題　隅野　裕之　28
これまでの各チームの実践から府士会活動として今後の展望　田中　歩　35

となりの街の作業療法士
千里リハビリテーション病院のマインド　中村　春基　37
発達支援センターでのOTの取り組み　吉本　幸恵　43

書評カフェ　佐藤　貴之・中西　一・黒田美咲希　48

明日から使える評価方法
中等度・重度認知症における活動に対する取り組み方尺度
—Assessment Scale for Engagement in Activities ASEAの紹介—　西谷　有沙　52

Vol. 39 No. 1
Jul 2025

（一社）大阪府作業療法士会

大阪作業療法ジャーナル

第39巻　第1号

巻 頭 言　辻　薫 …… 1

特　集：子どもから高齢者まで：大阪の地域包括ケアの現状とこれから

大阪の地域包括ケア推進に向けた現状とこれから　藤原　太郎 …… 2

地域包括ケアチーム：
大阪府下での地域包括ケアの実態と今後の展望について　浅田　健吾 …… 7

こども発達サポートチーム：
地域子育て支援人材養成講座がつないだ
地域包括ケアと発達支援のこれから　辻　薫 …… 14

こども発達サポートチームの新たな挑戦　西口あずさ …… 21

認知症支援推進チーム：
大阪府下での認知症支援の実態とこれからの課題　隅野　裕之 …… 28

これまでの各チームの実践から府士会活動として今後の展望　田中　歩 …… 35

となりの街の作業療法士

千里リハビリテーション病院のマインド　中村　春基 …… 37

発達支援センターでの OT の取り組み　吉本　幸恵 …… 43

書評カフェ　佐藤　貴之・中西　一・黒田美咲希 …… 48

明日から使える評価方法

中等度・重度認知症における活動に対する取り組み方尺度
―Assessment Scale for Engagement in
Activities ASEA の紹介―　西谷　有沙 …… 52

撤回通知 …… 59

投稿規定 …… 60

著作権規定 …… 62

執筆要領 …… 64

投稿論文チェックシート …… 66

編集後記・部員名簿 …… 67

巻　頭　言

辻　　薫
大阪人間科学大学

2023年4月1日、こども家庭庁の創設と併せて「子ども基本法」が施行された。国は、施行後5年（2028年）を目途に、基本理念に応じた子ども施策の一層の推進を図る。特に、少子化対策、省庁の縦割り打破、新しい政策課題や隙間事案への対応、保健福祉分野を中心とする事業実施（保育、母子保健、社会的養育、こどもの貧困対策、こどもの自殺対策、虐待防止、障がい児対策など）である。それを実行する基本姿勢として、こどもや子育てをしている人々の視点に立った政策立案、地方自治体との連携強化、様々な民間団体とのネットワーク強化を挙げている。

照らし合わせて、（一社）大阪府作業療法士会（以下、府士会）の活動においても、少子化の影響を受ける養成校入学者数減少と府士会入退会対策、各部局間の縦割り事業の打破、医療とつながる保健福祉や教育・就労分野への参画推進が課題となっている。

府士会は、1985年に設立されてから2025年で40周年となった。エリクソンの発達段階に例えると、壮年期に入る。作業療法士として社会に求められ、「はたらく」ことに期待が寄せられ、役割も広がり、成果が求められている。また、次世代を育てていくことへの関心が高まる時期にもなっている。だからこそ社会人としての倫理的配慮や責任もますます大きくなっていく。

本号の特集企画は、そのような40周年という節目を意識して、府士会活動で地域課題に挑戦してきた地域推進部の事業活動に焦点を当て、関係された方々にご執筆いただいた。2024年度から地域推進部に組織再編された地域包括ケアチーム、認知症支援推進チーム、子ども発達サポートチームのこれまでの事業成果と現状を、会員全員で共有し、これからの10年、50周年に向かって、縦割りを打破し、領域横断的なジェネラリストの育成とブロック活動の推進につなぐ目的がある。

こどもから高齢者まで、ひとりひとりのバイオサイコソーシャル（身体－心－社会）なWell-beingを守るための社会課題の解決は、ブロック活動そのものである。

ひとりの作業療法士の力では困難と思えることも、府士会活動として地域局、地域推進部、ブロック推進部の事業に参加し行動することで、ジェネラリスト、スペシャリストとしての作業療法士に目覚めていく。府民、市民としての利用者目線をもって、事業計画の立案と実践、地方自治体、市町村との連携強化、身近なブロック内の民間団体とのネットワークづくり、どこからでも良いと思う。今、ここから、行動していこう。

大阪作業療法ジャーナルに広告を出しませんか



大阪作業療法ジャーナルは年２回（１月と７月）発行しています。大阪の作業療法士が学術的発表や特集などを通じ学ぶ雑誌です。大阪府作業療法士会会員（現在会員数2,500人）や大阪の作業療法学科養成校に配布され、一般にも販売されています。

広告はモノクロで A4 １ページ ３万円、1/2ページが２万円となります。

広告を希望される場合は、大阪府作業療法士会事務局までお願いします。

〒540－0004　大阪市中央区玉造２－16－８
玉造井上ビル６階
TEL：06－6765－3375
FAX：06－6765－3376
E-mail：jimu@osaka-ot.jp

大阪作業療法ジャーナル
第39巻　第１号

発行人：藤原　太郎
（一社）大阪府作業療法士会
〒540-0004 大阪市中央区玉造2-16-8 玉造井上ビル６階
TEL：06-6765-3375　　FAX：06-6765-3376
URL：http://osaka-ot.jp　　E-mail：jimu@osaka-ot.jp

出　版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793　FAX：096-386-2025



定価1000円